

IR REPORT

第55期 報告書
2017年4月1日～2018年3月31日



ウェーブロックホールディングス株式会社
Wavelock Holdings Co., Ltd.

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。

2018年3月期の業績

さて、既にご報告のとおり、2018年3月期の売上高は277億2百万円(前期比3.0%増)、営業利益は18億34百万円(前期比34.9%増)と、売上高は若干の伸びに留まりましたが、利益面では期初計画を大きく上回る結果を残すことができました。この主たる要因としては、

- ① インテリア事業において、(株)サンゲツとの連携をベースとした売上増と売上構成の変化が、先行して実行していた生産能力増強などの投資と上手く噛み合い、また、地道で継続的なコスト削減努力の成果とも相まって、収益性の向上を実現することができたこと
- ② アドバンステクノロジー事業において、金属調加飾フィルム分野での新規案件獲得による利益率の高い製品へのシフトと、生産面における改善が実現できたこと

を挙げるすることができます。

2019年3月期の課題、優先的取り組み

多くの方々がお感じのとおり、世界の将来に対する不透明感、言い換えれば将来予測の難しさは、近年、益々増大しています。世界のリーダー達の気まぐれとも思える判断・行動、ブレグジットに代表される政治的变化と経済的变化の連動、紛争地域を中心とした地政学上の問題、新世代の金融システムやAIなどの新技術が実生活におよぼす影響など、その要因は多

岐に渡り、かつ、複雑に絡み合い、明確な回答を導くことを難しくしています。当社の事業に直接に関わる原油価格や為替も、実需と供給のバランスというある意味健全な要因とは異なる要因によって大きく変動しており、当社を取り巻く環境も将来予測が極めて難しくなっていると痛感しています。

このような不透明な環境下、当社は、企業業績が大きく好転したこの時期こそ、短期的な視点と長期的な視点のバランスを取りつつ、より具体的、かつ積極的なアクションを取るべきタイミングと捉え、既に幾つかの施策を実行に移しています。

その流れの中で、今、当社が優先的に取り組むべきテーマは、次の3点です。

- ① これまで行ってきた取り組みの中で、特に成果が出ている取り組みをさらに深耕し、アウトプットを最大限にまで伸ばす努力を継続すること

当該取り組みの目論見が正しい方向であることは、これまでの成果が証明しており、これをさらに掘り下げることは、確実性が高い取り組みになると考えられます。

具体的には、

- **インテリア事業:** (株)サンゲツとのアライアンスを深耕させ、相互にとってさらに実りあるものへとすることは、引き続き当社グループの最重要課題となります。
- **産業資材・包材事業および編織事業:** 従来より取り組んできた「シートとネットの融合・組み合わせ」を加速します。そのために、編織事業(ネット事業)を担うダイオ化成(株)の製販分離を行い、同社の販売部門を、産業資材・包材事業においてシート・フィルムなどを販売する(株)イノバックスへと統



三次元成形できるフィルムをつくれ!

～常識を覆す多層構造～

自動車内・外装、カバン、家電などに活用されている「三次元成形用金属調加飾フィルム」は、当社グループ技術者たちの研究の積み重ねで誕生した製品のひとつです。その開発の裏側をご紹介します。

株主の皆様へ

合します(2019年1月実行を予定)。この事業再編により、従来以上に多岐に渡る製品・サービスを提供可能な体制にするとともに、両社の異なる販売チャネルの組み合わせが大きなシナジー効果をもたらすことを期待しています。

● **アドバンステクノロジー事業:** グループ内で、最も成長を期待される金属調加飾フィルム分野における積極的な事業拡大をさらに進めます。特に2019年3月期は、従来無かった縦方向(材料やシート加工分野)、横方向(海外展開と新規顧客の開拓)への取り組みを一層進めることで、金属調加飾フィルム自体の品質向上、多様化を目指します。

② 現在の事業チャンスに対し、タイムリーな判断で、積極的なアクションを起こすこと

予測の難しい、将来が不透明な環境下においては、中長期的な試みの成功確率は総じて低下します。むしろ、目の前のチャンスに対するリアクションタイムを短くすることで成功確率を上げることが良い結果に結びつきやすいと考えられます。

具体的には、

● **アドバンステクノロジー事業:** 金属調加飾フィルムのシート加工委託先でのトラブルをきっかけとして、自らシート加工に関わることにしました。2018年3月期には、半年以上にわたり、当該シート加工メーカー工場内の建屋・設備などを賃借し、当社メンバーが多数常駐し、加工工程の安定化、収益率改善対策を実施した結果、品質改善、効率改善が果たされるまでに至りました。2019年6月までには、当該シート加工メーカーから必要設備を購入、移設し、自社で名古屋工場を稼働させる計画です。したがって、2019年3月期上半期には新工場建屋改造、機械設備購入、人材育成などの先行投資、先行費用が発生します。しかしながら、加飾フィルムビジネスにおいては、自動車メーカー、家電メーカーなどで採用される最終パーツが完成するまでの過程で、材料からシート加工工程までの連携が極めて重要で、自らシート加工にも関わり、経験・ノウハウを蓄積することは、金属調加飾フィルムビジネスを一段上のステージに引き上げる大きな原動力になると期待していますし、お客様に対しては、より多様な提案、より迅速な対応が可能になると考えます。

● **産業資材・包材事業:** 包材事業において、海外企業から技術導入を行い新たな取り組みを開始しました。これまでに約2億円をかけた設備改造を実施し、より付加価値の高い製品の開発を進めています。まだ試作段階であり、コストが先行しますが、2019年3月期末までの上市に向けて最大限の努力を継続したいと考えています。

③ 積極的な海外展開への取り組み

将来が不透明な環境下では、事業ポートフォリオのバランスをより強く意識する必要があります。その様な切り口で当社を見た場合、日本国内のビジネスに大きく依存している現状には本気の対応が必要です。会社の安定的・継続的成長を考えた時には、本格的海外展開は最重要課題の1つです。

具体的な取り組みとしては、

● **産業資材・包材事業:** 2018年3月期にタイに販売子会社を設立しました。成長著しいASEAN諸国への入り口として、既存重要顧客の主要海外拠点がある国として、また、既存加工委託先がある国として、当社にとってタイ子会社はアジアでの事業展開の重要なハブとなります。また、将来的には現地生産も視野に入れたいと考えています。

● **アドバンステクノロジー事業:** 2019年3月期に米国デトロイトに子会社を設立します。既にこの分野での経験豊富な現地採用予定の幹部社員とも契約を締結しており、会社設立後は米国での展開を一気に加速させたいと考えています。

東証二部から一部へ

当社は、本年4月10日に東京証券取引所市場第一部へ指定されました。一部銘柄に指定して頂けたことに感謝する一方で、このことで会社の中身は何も変わらないことは十分に自覚すべきです。自覚しています。ただ、この機会に、日頃の株主の皆様のご支援にお応えすべく、2018年3月期の期末配当において一株当たり2円の上場記念配当および2円の増配を実施します。

最後に

当社の社名の由来でもあるウェーブブロックは、波状に配した複数の糸を2枚のシートで挟み込んだ製品ですが、当社自体も、各事業を縦糸横糸にしなが、グループとしての組織力・営業力・技術力などのシートで挟み込むことで、一本の糸だけ、一枚のシートだけでは出せない付加価値を生み出し、安定的で継続的な成長を達成できる強い会社を目指して行きます。



株主の皆様におかれましては、今後とも当社をご支援頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

2018年6月

代表取締役 兼 執行役員社長

木根 純

▶ 挑戦の始まり

1998年、アメリカのある企業から、自動車ドアミラーのハウジングを、めっきではなく当社のフィルムで三次元成形したい、という要望を受けました。我々は、「平面加飾用ながらも加工可能なグレードをお客様側の加工方法に合わせて少し工夫すれば良いのでは」と考え、試作品を提供しました。しかし、先方からの評価は、「三次元性は良いが、めっきと比べて白くて金属感がなく、表面の硬さも足りない」というものでした。

▶ 金属感と強度の克服

我々は、三次元形状に成形しても金属感が低下しない金属の研究として、金属の薄膜材料を三次元形状に成形し、表面が割れないかを確かめる実験を繰り返しました。途中で良い素材が見つかったも、三次元成形ができなかったり、費用面で断念したりと紆余曲折の半年間でした。

▶ 三次元成形が可能な金属調加飾の誕生

我々はあらゆる素材を調査し、検証を重ねました。そんなある日、我々は飲料缶に使われている深絞り可能な薄い素材を見つけました。この素材と「表面の硬さのための素材」「金属層」という組み合わせで完成したものが、多層構成のMTIA(三次元成形が可能な金属調加飾フィルム)です。

▶ 社長への説得

喜び勇んで当時の社長に報告しましたが、「多層構成では社内で2回も工程があり、ロスの増加や品質低下を招き、量産性が無い」と付き返されてしまいました。それでも我々は諦めず、コスト試算書の提出や試作の結果報告、カラーバリエーションへの展開などのメリットを繰り返し説明しました。そして、ついに社長の承認を得て、引き合いから2年で世に出すことができました。

▶ 市場の現実と転機

販売から3年間はスポット案件が多く、社内の生産は月に1回あるかないかのパツとしない状態が続きました。そんな中、めっき製で錆びやすい自動車のホイールオーナメントをフィルム加飾で解決できないかというお声をかけていただきました。しかし我々にとって、自動車製造ライン品は新たな挑戦でした。細かな外観要求、厳しい規格基準への適合など、膨大な量の試験や資料準備をこなし、ようやく量産にたどり着いたのは、さらに1年後のことでした。

▶ 世界一の品質とラインナップをお客様に届ける

現在では、塗装では表現できない深みのあるカラー意匠も揃えてお客様の要望にお応えしながら、改善改良に加え、新しい製品開発に取り組んでいます。それは、単なるめっき代替や塗装代替ではなく、商品そのものに魅力を感じていただきたいと考えているからです。これからもお客様の数多くのニーズに応えるべく、我々は製品開発に取り組んでいます。「世界一の品質とラインナップでお客様に喜んでもらえること」を目指して。

詳細は、株式会社ウェーブブロック・アドバンス・テクノロジーのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.wavelock-at.co.jp/development/story.html>

ウェブブロック 金属調加飾フィルム開発ストーリー

検索



豆知識 金属調加飾フィルム

? 金属調加飾フィルムって何?

金属光沢をもつフィルムを成形加工することで、高級素材である金属調の外観を付与することができるものです。当社独自の着色技術によってめっきや金属では難しい深みのある意匠表現を実現しました。また、製造工程での環境負荷が小さいことも特徴です。

? どのようなものに使われている?

優れた成形性をもち、自動車・家電・スーツケース・アミューズメントなどのデザイン性や質感を高める加飾パーツ向けに幅広い分野で使用されています。

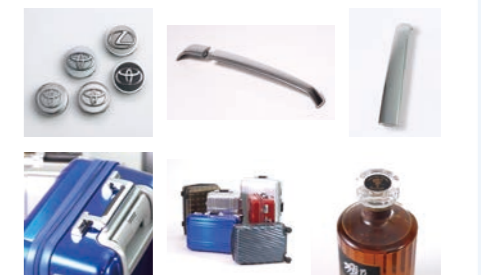
? 今後の需要拡大が見込まれる分野は?

自動ブレーキや自動走行アシストなどのインテリジェント化が進む自動車分野において、電波を通さない金属に代わり、電波を透過する金属調樹脂パーツへの需要が拡大しています。また、光透過の特徴を活かし、デザイン性を高める部品としても需要が見込まれています。

? 今後の展開は?

当社の成長を牽引する事業として期待しており、差別化された高付加価値製品の開発や新商材の発掘、アジア地域全体および北米や欧州地域への事業拡大を進めています。

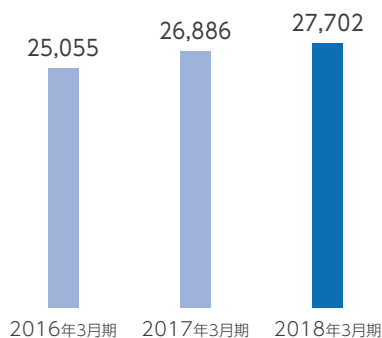
● 使用例



連結財務ハイライト

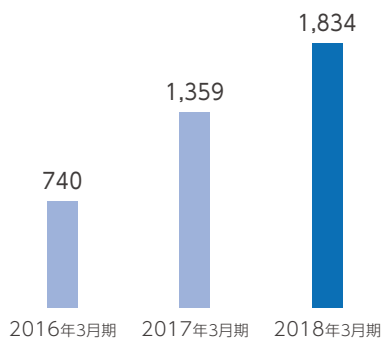
● 売上高

(単位:百万円)



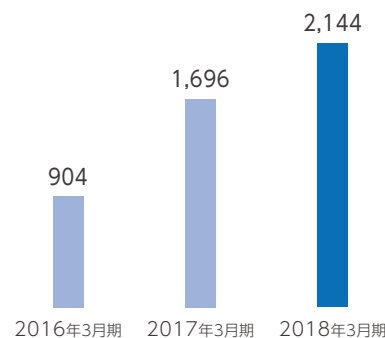
● 営業利益

(単位:百万円)



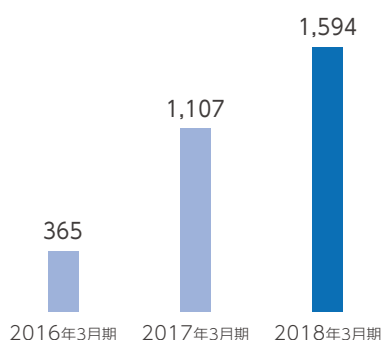
● 経常利益

(単位:百万円)



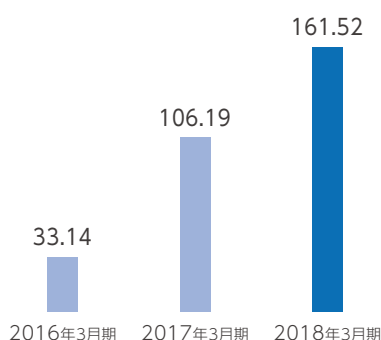
● 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



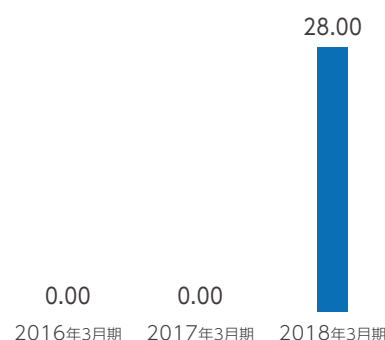
● 1株当たり当期純利益

(単位:円)



● 1株当たり配当金

(単位:円)



会社 / 投資家情報

● 会社概要

(2018年3月31日現在)

商号	ウェーブロックホールディングス株式会社 (Wavelock Holdings Co., Ltd.)
代表者	代表取締役 兼 執行役員社長 木根 潤 代表取締役 兼 執行役員副社長 福田 晃
設立	1964年(昭和39年)6月20日
事業内容	持株会社、グループ全体の戦略策定、 資源配分、経営管理
資本金	21億8,504万円
本社	〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー13F
従業員数	(単独)37人(連結)744人
グループ会社	連結子会社14社 / 非連結子会社1社 持分法適用会社1社
主要子会社	株式会社ウェーブロックインテリア(インテリア事業) ダイオ化成株式会社(編織事業) 株式会社イノベックス(産業資材・包材事業) 日本ウェーブロック株式会社(産業資材・包材事業) 株式会社ウェーブロック・アドバンス・テクノロジー (アドバンステクノロジー事業)

● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金	株主確定日 3月31日
中間配当金	株主確定日 9月30日
単元株式数	100株
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。なお、電子公告は当社のウェブサイトに掲載しており、そのアドレスは次のとおりです。 http://www.wavelock-holdings.com/
お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関 お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行* フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00) *トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行*およびみずほ銀行 (みずほ証券では取次のみとなります) *トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。



ウェーブロックホールディングス株式会社
Wavelock Holdings Co., Ltd.

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問合せください。なお、みずほ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。